

まち紹介

第5回

成田

成田山新勝寺と表参道を歩く

文・写真
橋本 修一

成田と言えば、やはり新勝寺ということになります。そこで今回は、表参道をぶらぶらして沿道の建物を訪ねながら、新勝寺の建物や風景を紹介していきたいと思います。

表参道について

成田山まで行く前に、表参道を歩いて行くことにしたいと思います。さてJR成田駅の東口は、ここ数年の間に様変わりしました。駅前にあった店舗棟は移設され、広い駅前広場として生まれ変わりました。しかし表参道の入口は、以前と変わりなく東口を出て駅前広場の左沿いに歩いて行くと見えてきます。さてここで表参道について簡単に解説したいと思います。この表参道は、成田山新勝寺に向かって、下っていくという地形になっています。これは全国の寺社の中でも特色のある参道であると思います。

それでは表参道に入っていきます。参道の店舗の形態ですが、大きく言って三つに分けられます。第一の区画は、参道の入口から蔵元滝沢本店までの花崎町界限です。次に第二の区画は滝沢本店の角を曲がってから薬師堂までの通りで上町界限です。まずここまでの共通点は、成田市の都市計画で旧参道の道路幅を歩道分セットバックして広くしたこと。それによって各店舗のフォサードを作り替えました。しかも意匠上瓦屋根を見せることと、周囲の町並みに合わせて和風調にすること等の条件があり、これらの条件を受け入れることで、町並みが生まれ変わりました。店舗の様子を紹介しますと、最初の区画では、主に居酒屋さんやレストラン等が多く有り、また海外の人達を多く見かけたりと、国際色豊かな店舗も町並みに共存しています。次の区画では昔からのお土産屋さんが、リニューアルした店舗で、多く営業しています。また、歩道には十二支の石像を見かけます。自分の干支を探してみるのも一興です。最後の区画は、薬師堂から総門までの坂道です。この道路巾は、江戸時代の昔のままです。しかも石畳もそのまま残っています。古い町並みや通りの雰囲気は今でも味わえます。さらに

